

2008年3月期 第1四半期財務・業績の概況

2007年7月31日

上場会社名 第一三共株式会社 上場取引所 東証・大証・名証各第1部
 コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄田 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 高橋 利夫
 コーポレートコミュニケーション部長 TEL (03) 6225-1126

(百万円未満切捨て)

1. 2008年3月期第1四半期の連結業績 (2007年4月1日 ~ 2007年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2008年3月期 第1四半期	235,542	△12.9	67,831	11.6	71,650	5.6	41,411	△13.7
2007年3月期 第1四半期	270,549	—	60,792	—	67,842	—	48,001	—
2007年3月期	929,506	—	136,313	—	152,086	—	78,549	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
2008年3月期 第1四半期	56	88	—	—
2007年3月期 第1四半期	65	84	—	—
2007年3月期	107	75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2008年3月期 第1四半期	1,559,891		1,289,374		82.4		1,776	26
2007年3月期 第1四半期	1,602,426		1,260,783		78.5		1,724	53
2007年3月期	1,636,835		1,272,148		77.5		1,740	26

2. 2008年3月期の連結業績予想 (2007年4月1日 ~ 2008年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	416,000	△14.4	75,000	△4.3	80,000	△9.3	44,000	△34.2	60	36
通期	837,000	△10.0	157,000	15.2	165,000	8.5	92,000	17.1	126	20

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照して下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、2005年9月に株式移転により共同持株会社である第一三共(株)を設立いたしました。以降グループ会社の再編を含めて統合作業を順次進め、2007年4月に三共(株)と第一製薬(株)を第一三共(株)が吸収合併して、全ての統合作業を完了しました。

当第1四半期の売上高は2,355億円(前年同期比12.9%減)となりました。

医薬品事業の売上高は2,258億円(前年同期比217億円減)、その他事業の売上高は96億円(前年同期比132億円減)となりました。海外子会社の決算期変更(前期は米国子会社、当期は欧州子会社について決算期を12月から3月に変更しており、1月から3月までの3か月分の業績が夫々、前年第1四半期と当四半期に加算されています。)による影響に加え、前年同期にサノフィ・アベンティス社に営業権を移転した抗血小板剤プラビックスの発売に伴う一時金収入を計上したこと、さらには医薬品事業への集中を進めその他の事業を大幅に縮小したこと等により、全体としては減収となりました。しかしながら、これらの特殊要因を除いた業績は、血圧降下剤オルメサルタンが国内市場をはじめとするグローバル市場で引続き大幅な伸長を示しているほか、他の主力製品も概ね堅調に推移しており、実質的な増収を果たすことが出来ました。

利益面では、医薬品事業への集中による原価率の改善や、要員適正化などの事業統合によるシナジー効果の発現、さらには経費支出の厳格化による費用削減等により、営業利益は678億円(前年同期比11.6%増)、経常利益は716億円(前年同期比5.6%増)となりました。企業の収益体質強化が確実に進展し、営業利益率並びに経常利益率が大きく改善しております。

特別損益において前年第1四半期に非医薬品事業の子会社売却益等が計上されており、当四半期の特別利益が大幅に減少した結果、当第1四半期純利益につきましては、414億円(前年同期比13.7%減)となりました。

なお、海外子会社の決算期変更による影響額として、前年同期は米国子会社について売上高315億円、営業利益90億円、経常利益105億円、当期純利益58億円が、当四半期は欧州子会社について売上高141億円、営業利益18億円、経常利益21億円、当期純利益20億円が夫々加算されております。

[所在地別セグメント]

日本の売上高は、1,518億円(前年同期比273億円減)となりました。前年中間期以降に進展した非医薬品事業のグループ外自立化による影響、並びに前年同期においてプラビックス一時金収入を計上していたことなどにより減収となりました。

国内医療用医薬品(売上高1,125億円)では、血圧降下剤オルメテックが伸長するとともに、広範囲経口抗菌製剤クラビット、鎮痛・抗炎症・解熱剤ロキソニン、高血圧・狭心症・慢性心不全治療剤アーチストなどが順調に推移いたしましたが、高脂血症治療剤メバロチン他が減少しました。

海外ライセンスへの輸出売上及びロイヤリティ収入(売上高210億円)では、昨年6月に米国での特許期間が満了した高脂血症治療剤プラバスタチンの原薬輸出が減少いたしました。主力の広範囲経口抗菌製剤レボフロキサシンが好調な現地消化を反映して伸長いたしました。

ヘルスケア品(売上高99億円)では、当四半期に新発売のパテックス・フェルビナクが順調な滑り出しを見せましたが、一方でラミシールATの販売契約を昨年末をもって終了した影響がありました。

なお、当社グループは、経営資源を医薬品事業に集中させるため、非医薬品事業の自立化を進めており、当四半期においては、第一ファインケミカル(株)、埼玉第一製薬(株)を他社へ株式譲渡いたしました。

米国の売上高は、450億円(前年同期比260億円減)となりました。前年同期に米国子会社の決算期変更による影響額315億円が含まれていたことから当四半期は減収となりましたが、血圧降下剤ベニカー、高脂血症治療剤ウェルコールなどが引き続き伸長しました。

その他地域の売上高は、386億円(前年同期比183億円増)となりました。欧州子会社の決算期変更による影響額141億円に加え、オルメテック(欧州)が堅調に推移しており、さらには円安傾向に伴う為替差もありました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結第1四半期末における総資産は1兆5,598億円(前連結会計年度末比769億円減少)、純資産は1兆2,893億円(前連結会計年度末比172億円増加)、自己資本比率は82.4%(前連結会計年度末77.5%)となりました。

総資産の減少は、要員適正化や機能子会社への転籍に伴う退職金未払額等の支払いが当四半期に行われたこと、退職金・年金制度の見直しにより前払年金費用と退職給付引当金の残高が相殺により圧縮されたこと、さらには、自己株式の取得並びに期末配当金の支払いなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2007年5月15日の2007年3月期決算発表時に公表した連結業績予想から変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については、簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社及び当社グループ会社の一部は、今般の企業再編に伴い2007年4月1日付で退職金・年金制度を統一し、確定給付企業年金法に基づく類似キャッシュバランスプラン型退職年金制度の導入および退職金の20%を確定拠出年金制度に移行を行う等の退職金・年金制度の見直しを実施いたしました。

三共㈱および第一製薬㈱の第一三共㈱への合併を契機とした当該制度の見直しにより多額の過去勤務債務が発生しましたが、今後はしばらく多額の発生が見込まれず、企業再編による効果も早期に発現することが見込まれることから、適切に退職給付制度の状況を適時に連結財務諸表へ反映させるため、企業再編前の主な事業会社である三共㈱では5年、第一製薬㈱及び第一アスピオファーマ㈱では10年としていた未認識過去勤務債務の償却方法について、当連結会計年度より、再編後の第一三共㈱及びアスピオファーマ㈱等において発生時から1年間（12ヶ月）で償却する方法に変更いたしました。

また、数理計算上の差異は、企業再編を機に退職金・年金制度を統一したため、また近時公定歩合の引き上げ、株式市場の堅調等、年金資産を取り巻く環境は好転しつつあるものの、当該統合により年金資産額が大幅に増加したことにより一層市場環境の影響を大きく受け、単年度の損益に著しい影響を与えることが想定されることから期間損益計算の適正性を確保するため、企業再編前の主な事業会社である三共㈱では発生年度に一括費用処理、第一製薬㈱では10年としていた数理計算上の差異の処理方法については、当連結会計年度より、従業員の平均残存勤務期間内（17年）の一定年数（10年）による定額法により処理する方法に変更いたしました。

この変更に伴い、前連結会計年度までに発生した未認識過去勤務債務の未償却残高231百万円については特別利益として計上した結果、従来と同一の基準によった場合と比較し、営業利益及び経常利益はいずれも1,988百万円多く計上され、税金等調整前当期純利益は2,220百万円多く計上されております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期要約連結貸借対照表

区分	前連結第1四半期 (2006年6月30日)		当連結第1四半期 (2007年6月30日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	210,488		98,576		232,614	
2. 受取手形及び売掛金	244,732		212,315		197,158	
3. 有価証券	284,163		437,790		373,896	
4. 抵当証券	15,000		15,000		15,000	
5. たな卸資産	118,144		107,692		107,758	
6. 繰延税金資産	48,288		61,342		63,364	
7. その他	38,834		33,760		26,773	
貸倒引当金	△580		△950		△724	
流動資産合計	959,070	59.9	965,527	61.9	1,015,840	62.1
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	157,243		139,111		142,534	
(2) 機械装置及び運搬具	45,586		35,646		40,010	
(3) 土地	46,812		36,673		38,011	
(4) 建設仮勘定	10,502		13,137		12,013	
(5) その他	18,925		15,923		16,288	
有形固定資産合計	279,069	17.4	240,492	15.4	248,857	15.2
2. 無形固定資産						
(1) のれん	23,453		17,667		18,569	
(2) その他	35,481		39,641		41,584	
無形固定資産合計	58,935	3.7	57,309	3.7	60,153	3.7
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	253,781		269,815		262,240	
(2) 長期貸付金	5,670		1,352		1,615	
(3) 前払年金費用	17,086		1,444		18,021	
(4) 繰延税金資産	7,292		6,416		8,890	
(5) その他	22,014		17,825		21,636	
貸倒引当金	△494		△294		△421	
投資その他の資産合計	305,350	19.0	296,561	19.0	311,983	19.0
固定資産合計	643,356	40.1	594,363	38.1	620,994	37.9
資産合計	1,602,426	100.0	1,559,891	100.0	1,636,835	100.0

第一三共株式会社(4568) 2008年3月期第1四半期財務・業績の概況

区分	前連結第1四半期 (2006年6月30日)		当連結第1四半期 (2007年6月30日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	57,615		51,948		56,435	
2. 短期借入金	7,262		3,279		8,560	
3. 未払法人税等	32,388		29,929		27,573	
4. 繰延税金負債	373		—		—	
5. 返品調整引当金	1,016		1,166		1,315	
6. 売上割戻引当金	2,650		2,729		2,471	
7. 偶発損失引当金	3,332		1,493		3,498	
8. その他	130,749		118,169		181,653	
流動負債合計	235,389	14.7	208,717	13.4	281,510	17.2
II 固定負債						
1. 長期借入金	1,824		1,489		1,533	
2. 繰延税金負債	25,897		36,405		36,145	
3. 退職給付引当金	65,946		10,688		35,062	
4. 役員退職慰労引当金	2,680		427		1,037	
5. 土壌浄化対策引当金	2,850		3,755		3,956	
6. その他	7,054		9,031		5,441	
固定負債合計	106,254	6.6	61,799	3.9	83,176	5.1
負債合計	341,643	21.3	270,516	17.3	364,687	22.3
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	50,000	3.1	50,000	3.2	50,000	3.1
2. 資本剰余金	179,858	11.2	179,861	11.6	179,860	11.0
3. 利益剰余金	962,938	60.1	994,059	63.7	971,483	59.3
4. 自己株式	△9,858	△0.6	△26,658	△1.7	△9,997	△0.6
株主資本合計	1,182,938	73.8	1,197,262	76.8	1,191,346	72.8
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	75,209	4.7	75,028	4.8	72,358	4.4
2. 為替換算調整勘定	△890	△0.0	13,714	0.9	4,951	0.3
評価・換算差額等合計	74,319	4.7	88,742	5.7	77,310	4.7
III 少数株主持分	3,525	0.2	3,369	0.2	3,491	0.2
純資産合計	1,260,783	78.7	1,289,374	82.7	1,271,248	77.7
負債純資産合計	1,602,426	100.0	1,559,891	100.0	1,636,835	100.0

(2) 四半期要約連結損益計算書

区分	前連結第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)		当連結第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)		増減 金額 (百万円)	前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	270,549	100.0	235,542	100.0	△35,006	929,506	100.0
II 売上原価	73,589	27.2	57,855	24.6	△15,734	265,200	28.5
売上総利益	196,960	72.8	177,687	75.4	△19,272	664,306	71.5
III 販売費及び一般管理費	136,167	50.3	109,856	46.6	△26,311	527,992	56.8
営業利益	60,792	22.5	67,831	28.8	7,039	136,313	14.7
IV 営業外収益	8,326	3.1	5,888	2.5	△2,437	20,001	2.2
V 営業外費用	1,275	0.5	2,068	0.9	793	4,228	0.5
経常利益	67,842	25.1	71,650	30.4	3,808	152,086	16.4
VI 特別利益	21,394	7.9	3,885	1.7	△17,509	73,492	7.9
VII 特別損失	5,482	2.0	4,035	1.7	△1,447	98,666	10.6
税金等調整前四半期(当期)純利益	83,755	31.0	71,501	30.4	△12,253	126,912	13.7
税金費用	35,833	13.3	30,119	12.8	△5,713	48,078	5.2
少数株主利益	△79	△0.0	△29	△0.0	50	283	0.0
四半期(当期)純利益	48,001	17.7	41,411	17.6	△6,590	78,549	8.5

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「医薬品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、当連結第1四半期より事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前連結第1四半期(自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	179,214	71,068	20,266	270,549	—	270,549
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,082	6,157	2,021	32,261	(32,261)	—
計	203,297	77,225	22,288	302,811	(32,261)	270,549
営業費用	152,240	53,743	17,338	223,322	(13,565)	209,757
営業利益	51,057	23,481	4,949	79,488	(18,696)	60,792

当連結第1四半期(自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	151,859	45,054	38,628	235,542	—	235,542
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18,021	10,270	4,836	33,128	(33,128)	—
計	169,881	55,324	43,465	268,671	(33,128)	235,542
営業費用	122,419	42,077	38,185	202,682	(34,970)	167,711
営業利益	47,461	13,247	5,280	65,989	1,842	67,831

前連結会計年度(自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	667,851	191,466	70,188	929,506	—	929,506
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	81,943	41,239	17,044	140,227	(140,227)	—
計	749,795	232,706	87,232	1,069,734	(140,227)	929,506
営業費用	637,080	195,421	79,602	912,104	(118,910)	793,193
営業利益	112,714	37,285	7,630	157,630	(21,316)	136,313

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の各地域区分に属する国又は地域

北米……米国

その他…ドイツ、英国、フランス、スペイン、イタリア、中国、台湾等

[海外売上高]

前連結第1四半期(自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	80,155	27,554	7,369	115,079
II 連結売上高(百万円)				270,549
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	29.6	10.2	2.7	42.5

当連結第1四半期(自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	56,114	39,080	10,261	105,455
II 連結売上高(百万円)				235,542
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.8	16.6	4.4	44.8

前連結会計年度(自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	241,850	84,327	30,523	356,700
II 連結売上高(百万円)				929,506
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	26.0	9.1	3.3	38.4

(注) 1. 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米……米国、カナダ

欧州……ドイツ、英国、スペイン、イタリア、アイルランド、フランス、スイス等

その他…アジア、中近東、中南米等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。